

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】令和 5 年 10 月 23 日 (2023.10.23)

【公開番号】特開 2023-91028 (P2023-91028A)

【公開日】令和 5 年 6 月 29 日 (2023.6.29)

【年通号数】公開公報 (特許) 2023-121

【出願番号】特願 2023-79101 (P2023-79101)

【国際特許分類】

**G 0 2 B 13/00 (2006.01)**

G 0 2 B 13/18 (2006.01)

G 0 2 B 13/04 (2006.01)

G 0 2 B 15/20 (2006.01)

10

【F I】

G 0 2 B 13/00

G 0 2 B 13/18

G 0 2 B 13/04

G 0 2 B 15/20

【手続補正書】

20

【提出日】令和 5 年 10 月 12 日 (2023.10.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

以下の条件式を満足するレンズを有する光学系。

$$1.8650 < n_{dLZ} + (0.00495 \times d_{LZ}) < 1.9200$$

30

$$35.0 < d_{LZ} < 40.0$$

$$g_{FLZ} + (0.00316 \times d_{LZ}) < 0.7010$$

但し、 $n_{dLZ}$ ：前記レンズの d 線に対する屈折率

$d_{LZ}$ ：前記レンズの d 線を基準とするアッベ数

$g_{FLZ}$ ：前記レンズの部分分散比であり、前記レンズの g 線に対する屈折率を  $n_{gLZ}$  とし、前記レンズの F 線に対する屈折率を  $n_{FLZ}$  とし、前記レンズの C 線に対する屈折率を  $n_{CLZ}$  としたとき、次式で定義される

$$g_{FLZ} = (n_{gLZ} - n_{FLZ}) / (n_{FLZ} - n_{CLZ})$$

【請求項 2】

前記レンズは、以下の条件式を満足する請求項 1 に記載の光学系。

40

$$1.660 < n_{dLZ} < 1.750$$

【請求項 3】

前記レンズは、以下の条件式を満足する請求項 1 又は 2 に記載の光学系。

$$1.670 < n_{dLZ} < 1.710$$

【請求項 4】

前記レンズは、以下の条件式を満足する請求項 1 ~ 3 のいずれか一項に記載の光学系。

$$36.0 < d_{LZ} < 38.2$$

【請求項 5】

前記レンズは、負レンズである請求項 1 ~ 4 のいずれか一項に記載の光学系。

【請求項 6】

50

前記光学系は、合焦時に光軸に沿って移動可能なレンズ群を有し、

前記レンズが前記レンズ群に含まれる請求項 1 ～ 5 のいずれか一項に記載の光学系。

【請求項 7】

前記レンズは、ガラスレンズである請求項 1 ～ 6 のいずれか一項に記載の光学系。

【請求項 8】

前記光学系は、開口絞りを有し、

前記レンズが前記開口絞りの近傍に配置される請求項 1 ～ 7 のいずれか一項に記載の光学系。

【請求項 9】

前記レンズは、接合レンズを構成するレンズである請求項 1 ～ 8 のいずれか一項に記載の光学系。 10

【請求項 10】

請求項 1 ～ 9 のいずれか一項に記載の光学系を備えて構成される光学機器。

20

30

40

50